

## 「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈5月2日（金）放送分〉

### テーマ：「奄美図書館5月行事及び事業の案内」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。

明日から、ゴールデンウィークの連休!という方もたくさんいらっしゃると思います。どんな計画を立てていらっしゃるでしょうか？ 旅行とかスポーツとか、もしかしたら家でのんびり・・・も有りですね。

もし、過ごし方に迷ったら、図書館はいかがでしょう。各地の旅行に関する本、スポーツを楽しむための本やグルメ本を探すのもよし、たまには時間を忘れて、ゆったりと「文学の世界を旅する」のも贅沢ぜいたくですね。

現在、奄美図書館では、「こどもの読書週間」にあわせて、一般図書と児童図書をそれぞれ10冊ずつ借りることができます。今月11日の日曜日までですので、この機会にぜひ御利用ください。

さて、4月20日は「子ども読書の日」にちなみ、3人の「一日図書館長」が、図書館の様々な仕事を体験しました。

今年任命された「一日図書館長」は、奄美小学校6年生の美坂みさか心音ここねさん、名瀬中学校3年生の徳田とくだ樹央きおさん、大島高等学校3年生の武元たけもとめぐみさんです。3人は図書館内のカウンター業務や、普段は見ることのできない書庫の巡視などを行い、読み聞かせでは、子どもたちの前で手遊び歌や紙芝居もしました。館長体験を終えて3人は、「図書館では、いろんな人が働いていると知った。もっと利用しようと思った。」「書庫の様子が分かっていい経験になった。読み聞かせは緊張したけど、喜んでもらってよかった。」「本を守るための防災設備などがしっかりそろっていて驚いた。貴重な経験ができた。」と話してくれました。本当に御苦労さまでした。

また、現在「こどもの読書週間」にちなんだ企画展示を、5月11日、日曜日まで開催しています。1階エントランスホールには、奄美図書館職員と来館者が、未来を担う子どもたちにお薦めしたい本を紹介する「大きくなあれ おはなしの木」があります。

3階閲覧室奄図ギャラリーには、1960年、昭和35年からの「こどもの読書週間」の歴代のポスター・標語が、ずらりと展示されています。色彩豊かに描かれた歴代のポスターをぜひご覧になって、時代の流れをお楽しみください。

次に、放送大学鹿児島学習センターの公開講座を御案内します。

第29回の公開講座のテーマは「海洋生物は医薬品素材の宝庫」です。講師は鹿児島大学名誉教授の岩川いわがわ哲夫てつお先生です。

皆さんは、100万種以上も生息していると言われる海洋生物に、抗がん剤や抗炎症剤など、医薬品の材料となり得る化合物が含まれていることを御存知ですか？このような海洋生物に含まれる化合物について、歴史的背景を交えながら、画像とともに分かりやすく紹介していただきます。生物と化学について興味がある方もない方も、面白い話がたくさん聞けるとと思います。

期日は、5月11日、日曜日、午後1時20分から午後2時45分まで。会場は奄美図書館4階研修室です。事前の申し込みは必要ありませんので、ぜひ受講してみてください。

さて、今年もいよいよ生涯学習講座「あまみならでは学舎」が始まります。全8回の講座の1時間目は、大島支庁保健福祉環境部の吉田 健一氏を講師に、「世界自然遺産登録に向けて」と題して講演していただきます。奄美の世界自然遺産登録に向けた本県の取組や課題を中心に、「住民として何をすべきか」、「奄美はどうあるべきか」を分かりやすくお話ししていただきます。

講演の期日は、5月17日、土曜日、午後2時から午後3時30分まで。会場は奄美図書館4階研修室です。

奄美は、いよいよ世界自然遺産登録に向けて本格的に動き出します。奄美図書館も情報発信基地として、世界遺産に関する本や資料を集め、今月末から「世界遺産コーナー」を設置して、全力で応援していきます。皆さんも、甲子園のように日本一の応援をしていきましょう！

また、今月は、毎年好評をいただいている「お母さんとお父さんの読み聞かせ教室」が開催されます。0歳から4・5歳までの乳幼児をもつお母さん・お父さんに、家庭での読み聞かせの仕方や本の選び方、手遊び歌など、親子一緒になって学ぶことができる教室となっています。

期日は、5月25日、日曜日、午前10時30分から11時40分まで。会場は奄美図書館4階研修室です。定員は親子20組までとなっており、申込み先着順に受講決定となります。

最後に展示会のお知らせです。現在、奄美市出身で岩手県在住の奄美観光大使、牧勝一朗氏による「青森・秋田・岩手のアーティストたちの芽吹展」を開催しています。

大島紬と岩手県の南部小紋を融合した創作着物を手掛ける牧さんとアーティスト仲間の作品を展示しています。

東日本大震災から再起する東北の元気な姿を、美術品や関係図書を通して、奄美の皆様が届けたいという思いから実現した企画展で、創作着物や南部鉄器、津軽塗の他、岩手県の文化を象徴する貴重な土偶など、奄美では見ることのできないものばかりとなっています。

展示期間は、5月25日、日曜日まで。会場は、奄美図書館1階「島尾敏雄記念室」です。滅多にない機会です。お見逃しありませんように。

以上、お知らせしました講座等については、ホームページでも詳しくご案内しています。お申し込みは、電話、FAX、または直接奄美図書館へ来館してお申し込みください。電話番号は52-0244（繰り返して言う）、FAX番号は52-9634（繰り返して言う）です。

県立奄美図書館でした。来週もまたこの時間にお会いしましょう。